

2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社 大田花き
 コード番号 7555 URL <https://otakaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 磯村 信夫
 (氏名) 金子 和彦
 TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	971	12.2	55	82.9	75	61.3	51	62.7
2022年3月期第1四半期	865		30		47		31	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 51百万円 (62.7%) 2022年3月期第1四半期 31百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	10.07	
2022年3月期第1四半期	6.19	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	8,119	4,679	57.6	919.79
2022年3月期	8,806	4,689	53.3	921.72

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,679百万円 2022年3月期 4,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		12.00	12.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,838	2.3	173	18.6	196	21.0	130	24.7	25.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	5,500,000 株	2022年3月期	5,500,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	412,326 株	2022年3月期	412,326 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	5,087,674 株	2022年3月期1Q	5,087,674 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナにおいて各種制限が緩和され個人消費は回復基調が続いております。一方で緊迫するウクライナ情勢の長期化、資源価格の高騰、金融資本市場の変動など不安定な情勢もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においてはコロナ禍で自粛していた結婚披露宴が開催されるようになり、イベント等の催しが増えたことで需要が回復したことに加え、花き消費の基盤である家庭需要はしっかりしている上、インターネットやサブスクといった販売チャネルは新たに若年層の需要を開拓し、総じて需要はコロナ以前よりも増えています。しかし国内供給量は急には増えず、輸入品も国際物流や円安の影響から増えず単価高が続いております。また物流業界の「2024年問題」の影響もあり産地は出荷先を消費力の高い首都圏の卸売市場に絞る傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは日本全国に花を供給するために生産者、流通業者、小売業者と協力して生活者のニーズに的確に応えられるように仕組みづくりに努めてまいりました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高971,566千円(前年同四半期比12.2%増)、営業利益55,834千円(前年同四半期比82.9%増)、経常利益75,902千円(前年同四半期比61.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益51,219千円(前年同四半期比62.7%増)となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は8,119,866千円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ649,465千円減少し3,338,898千円、固定資産は前連結会計年度末に比べ36,758千円減少し4,780,967千円となりました。流動資産の主な内訳は、現金及び預金1,805,192千円、売掛金1,355,654千円、固定資産の主な内訳は建物及び構築物2,650,822千円です。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,440,293千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ618,655千円減少し1,594,847千円、固定負債は前連結会計年度末に比べ57,735千円減少し1,845,446千円となりました。流動負債の主な内訳は、受託販売未払金862,213千円、固定負債の主な内訳は長期借入金895,422千円です。

純資産は前連結会計年度末に比べ9,833千円減少し4,679,573千円となりました。これは剰余金の配当61,052千円、親会社株主に帰属する四半期純利益51,219千円の計上によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して219,822千円増加し1,805,192千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、314,714千円(前年同四半期は508,004千円の増加)となりました。主な増加要因は、売上債権の減少874,888千円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少593,090千円によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、9,036千円(前年同四半期は26,916千円の使用)となりました。減少要因は、有形固定資産の取得による支出15,550千円、無形固定資産の取得による支出2,400千円であり、増加要因は貸付金の回収による収入8,913千円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、85,855千円(前年同四半期は85,735千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出80,952千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,585,369	1,805,192
売掛金	2,248,711	1,355,654
商品	1,108	1,228
その他	153,174	176,823
流動資産合計	3,988,364	3,338,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,683,447	2,650,822
工具、器具及び備品(純額)	318,836	307,501
その他(純額)	110,970	115,943
有形固定資産合計	3,113,253	3,074,267
無形固定資産		
ソフトウェア	110,327	104,331
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	114,592	108,597
投資その他の資産	1,589,879	1,598,103
固定資産合計	4,817,726	4,780,967
資産合計	8,806,090	8,119,866
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	1,437,696	862,213
買掛金	59,012	42,802
1年内返済予定の長期借入金	323,808	318,288
未払金	44,343	36,325
未払法人税等	85,080	32,182
賞与引当金	19,000	72,000
その他	244,560	231,034
流動負債合計	2,213,502	1,594,847
固定負債		
長期借入金	970,854	895,422
退職給付に係る負債	457,803	468,468
資産除去債務	143,274	143,728
その他	331,250	337,826
固定負債合計	1,903,181	1,845,446
負債合計	4,116,684	3,440,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,085,579	4,075,746
自己株式	△350,539	△350,539
株主資本合計	4,689,406	4,679,573
純資産合計	4,689,406	4,679,573
負債純資産合計	8,806,090	8,119,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	865,956	971,566
売上原価	237,980	259,122
売上総利益	627,976	712,443
販売費及び一般管理費	597,444	656,609
営業利益	30,531	55,834
営業外収益		
受取利息	1,130	962
受取配当金	9,549	11,459
持分法による投資利益	4,825	5,359
その他	2,564	3,515
営業外収益合計	18,070	21,297
営業外費用		
支払利息	1,545	1,229
営業外費用合計	1,545	1,229
経常利益	47,056	75,902
税金等調整前四半期純利益	47,056	75,902
法人税等	15,575	24,682
四半期純利益	31,481	51,219
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,481	51,219

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	31,481	51,219
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	31,481	51,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,481	51,219
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	47,056	75,902
減価償却費	63,430	65,133
賞与引当金の増減額 (△は減少)	29,200	53,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,679	10,665
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,740	3,043
受取利息及び受取配当金	△10,680	△12,422
支払利息	1,545	1,229
持分法による投資損益 (△は益)	△4,825	△5,359
売上債権の増減額 (△は増加)	781,439	874,888
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△591	60
仕入債務の増減額 (△は減少)	△376,267	△593,090
未収入金の増減額 (△は増加)	4,526	10,205
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,874	△10,313
未払金の増減額 (△は減少)	△14,972	462
未払消費税等の増減額 (△は減少)	28,988	△46,190
その他	△49,764	△60,332
小計	509,630	366,880
利息及び配当金の受取額	14,870	18,176
利息の支払額	△1,545	△1,229
法人税等の支払額	△14,951	△69,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	508,004	314,714
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,606	△15,550
無形固定資産の取得による支出	△16,224	△2,400
貸付金の回収による収入	8,913	8,913
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,916	△9,036
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△80,952	△80,952
配当金の支払額	△503	△561
リース債務の返済による支出	△4,279	△4,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,735	△85,855
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	395,352	219,822
現金及び現金同等物の期首残高	1,593,601	1,585,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,988,954	1,805,192

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについては、当社グループが現時点で入手可能な情報を踏まえ、2023年3月期の一定の期間にわたり当該影響が継続するものと仮定し、繰延税金資産の回収等の会計上の見積りを行っておりますが、将来の不確実性が当社グループが行った会計上の見積りや結果に影響を与える可能性があります。